

『Nagoya Linguistics』投稿規程

1. 誌名は“Nagoya Linguistics”（名古屋言語研究）とする。
2. 投稿は会員に限るものとする（会員でない場合は、応募と同時に入会手続きをとること）。
3. 投稿論文は未公刊の論文であること。ただし、すでに口頭で発表したものなどに相応の修正・加筆を施したものは、審査の対象になる。名古屋言語研究会例会で発表が予定されているものは、発表前の投稿を認めない。
4. 使用言語は原則として日本語または英語とする。
5. 投稿者は、別途送付する「原稿提出書・同意書」を提出することによって、投稿論文のオンライン公開に同意するものとする。採用された論文は「Nagoya Repository」にて公開される。また、JaLC DOIの登録手続きを名古屋大学附属図書館・中央図書館に依頼する。オンライン公開に不同意の場合には、別に事務局に申し出るものとする。
6. 投稿締め切りは、8月末日とする。投稿論文の採否は、本会査読委員会によって行う。
7. 枚数、書式などは、以下のとおりとする。
 - a. 原稿枚数：A4, 14枚以内（要旨、注、参考文献を含む。要旨は400字程度）
 - b. 書式
 - 《日本語文》
 - 余白：上25mm, 下25mm, 右25mm, 左25mm
 - 字数：横書き40字×40行 縦書き33字×24行
 - フォント：MS明朝（日本語）, Times New Roman（英数字）
 - 字のサイズ：14pt太字（タイトル）, 12pt（氏名）, 10pt（所属）, 11pt（要旨見出し）, 9pt（要旨本文）, 12pt太字（大見出し）, 11pt太字（中見出し）, 10pt（小見出し）, 10pt（論文本文）, 9pt（脚注, 参考文献）
 - 《英語文》
 - 余白：日本語文と共通
 - 語数：横書き10～20語程度×40行
 - フォント：Times New Roman
 - 字のサイズ：日本語文と共通
 - c. 原稿の1ページ目は、【タイトル】、1行アケで中央揃えの【氏名】、同じ行に【所属】（括弧付き。大学・大学院などに所属する場合は学部・研究科、専攻、研究室名まで）、1行アケで中央揃えの【要旨見出し】、行を替えて【要旨本文】、1行アケで【論文本文】を続ける。

8. 採用が決定された場合、執筆者は頁×1000円を負担する。なお、執筆者には、本誌1部と抜刷20部を無料で呈する。

9. 原稿提出の際は、原稿の電子ファイル（WordファイルおよびPDFファイル）とともに、「原稿提出書・同意書」のPDFファイル（必要事項記入済・押印済のもの）をメール添付にて提出する。メール添付に不都合がある場合は事務局に相談すること。

10. 原稿の送り先および問い合わせ先
nagoya.gengoken@gmail.com
〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院人文学研究科日本語学研究室・言語学研究室